

科学に興味のある小中学生大募集!

長崎大学

ジュニアドクター育成塾基礎コース

令和  
8年度

受講生募集

受講料

無料

別途、材料費等が必要な場合があります

対象：小学5年生～中学3年生  
募集人数：40名程度

ジュニアドクター育成塾とは？

👉 裏面をご覧ください



お申込み

申込方法

下記URLまたは右の2次元コードから申込手続きをしてください。  
※「課題」の入力またはPDFファイルの添付が必要です。  
<https://forms.gle/2FTVqqYn9F23y8Sw9>

課題

【1】課題作文 **必須**

現在、興味・関心を持っていること、また今後どのような研究をしたいか、それをどう役立てたいかについて、1000字以内で書いてください。

★いずれかの方法で提出してください★

- 1 申込フォームに入力
- 2 申込フォームにPDFファイルを添付する
- 3 申込フォームで申込後、郵送する(宛先:下部記載ジュニアドクター育成塾事務局宛)

【2】これまでに行った自由研究等(任意)

これまでに行った自由研究等の内容をA4用紙1枚程度(書式自由)にまとめ、PDFファイルを添付してください。

締切

令和8年5月10日(日) 厳守

選考方法

1次選考:「課題作文」および「これまでに行った自由研究等(任意)」による書類選考  
2次選考:Zoomでのオンライン面接(面接日は5月下旬を予定。本学が指定する日時に行います。)

選考結果

6月中旬、電子メールにて通知予定



申込みフォーム  
(Googleフォーム)



課題作文用紙  
ダウンロード



国立大学法人

長崎大学  
NAGASAKI UNIVERSITY

国立大学法人長崎大学教育開発推進機構生涯教育センター

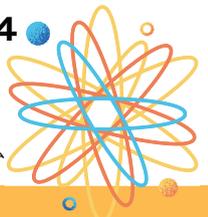
ジュニアドクター育成塾事務局

☎ 095-819-2184

〒852-8521 長崎市文教町1番14号

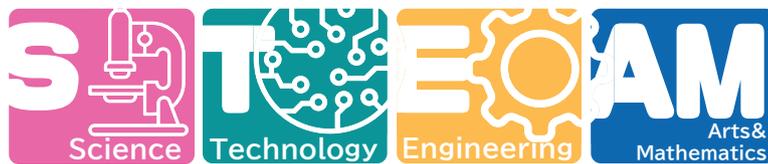
[Eメール] [mirai@ml.nagasaki-u.ac.jp](mailto:mirai@ml.nagasaki-u.ac.jp)

[お問合せフォーム] <http://www.chiikiedc.nagasaki-u.ac.jp/inquiry/> お問合せフォーム



# ジュニアドクター育成塾とは

本プログラムは、将来の科学イノベーションを牽引する傑出した人材の育成に向けて、高い意識や突出した能力を持つ小中学生を発掘し、理数・情報分野の学習等を通じて、その能力を伸長させる体系的な取組です。



近年、世界中で注目されているSTEAM(スティーム)教育を展開しています。STEAM教育とは Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学) Mathematics(数学)を統合的に学習するSTEM(ステム)教育に、さらにArts(リバーラルアーツ:教養、芸術)を統合した教育方法です。子どもの好奇心、創造性を育てる教育として近年注目され、日本でも現在文部科学省によって推進されつつあります。



事業の説明を動画にしました。ご覧ください！

## 基礎コース 年間スケジュール (予定)



※ 現在のジュニアドクター育成塾事業は令和8年度をもって終了する予定です。その後の事業の実施については未定です。

## 応募要件

- 理科や科学、技術、工学等に強い興味があり、将来は科学者、技術者、プログラマー等になりたい人
- 社会問題を科学技術で解決したいという夢を持っている人
- 講座は実験・実習を主としているため、長崎大学または博物館等の現地において対面で参加できる人
- 自宅でPC等が使える、Zoomでの面接等が行える環境がある人
- 過去に長崎大学ジュニアドクター育成塾を修了したことがない人
- 受講期間中に実施するテスト等に参加することができる人
- 講座中・終了後のアンケート(高校や大学進学した後の活動状況など)に協力できる人
- 本学が指定する日時に面接を受けることができる人(5月下旬予定)



## 卒業生の声

- すごく趣味の合う友達と出会えました。
- 同じ目的で集まった友達と一緒に学ぶ機会が嬉しかった。
- 目標を定めて努力する楽しさと対応力が身につきました。
- 普段入れないような企業の工場見学が思い出に残っています。
- 自分がどんな研究をしていきたいのかを深く考えることができました。
- とても楽しく活動ができて自信がついたように思うし人生も変わりました。
- 大学生の方とも交流する機会があり、勉強以外のことも話せて楽しかった。
- 今になって、仮説を立てて実験し、まとめ、発展まで自然にやっていたことに気づきました。家ではできない実験ができるので毎回楽しみでした。
- 色々な分野の実験や講座が小5には難しかったが、面白く、興味がでてワクワクしました。
- 高校に入ってから脳科学を学び、学会発表も経験しました。ジュニアドクター育成塾で小学校の頃から経験することができたため、学会発表やレポートの提出を難なくこなせるようになりました。
- 小中学生の頃は、自身の知識の不足により、先生が何を言っているのかわからないことがありましたが、高校生になって、学校の授業で習ってより深いところまで理解できるようになったときに「そういうことだったんだ」と納得することができる貴重な経験をすることができました。学校教育による“学力”では得られない(学力的な意味ではない)思考力を養えたことは、大人になってからも自分の強みだと思います。

くわしくは  
長崎大学生涯教育センター  
ホームページをご覧ください

